

ボリビア

効果的な診断・改修による井戸の長寿命化普及・実証事業 株式会社レアックス(北海道)

ボリビア国の開発ニーズ

- 飲料水供給率が低い一方で、井戸等の多くの給水施設が適切に維持管理されず機能低下が進行している。
- 給水サービスが立ち遅れている。
- 水資源が減少しており、水の有効利用への対策が急務である。

普及・実証事業の内容

- 実証活動を通じて提案製品である井戸カメラを用いた井戸診断および診断に基づく井戸改修方法の選定・改修の有効性を検証する。
- ボリビアの井戸管理関係者への技術移転を通じた普及方法を検討する。

提案企業の技術・製品



ポアホールカメラi-Do300F II

ー井戸内部の状態を画像・映像により診断し、変状や破損箇所を特定し、機能不全の原因を解明する水中カメラ。

ー直接目視では確認できない地下構造を明らかにできる。

事業概要

相手国実施機関：環境・水省 飲料水・基礎衛生次官室

事業期間：2017年1月～2019年2月

事業サイト：ラパス県エルアルト市、オルロ県オルロ市、チュキサカ県スクレ市、サンタクルス県ラガルディア市

ボリビア側に見込まれる成果

- 井戸の機能診断に基づく適切な改修が可能となり、既存井戸が長寿命化
- 維持管理能力向上により、我が国の協力による井戸の開発効果が持続
- 井戸の計画的、効率的な維持管理による水資源の有効利用・保全

日本企業側の成果

現状

- 製品のチュキサカ県への導入

今後

- 全国の給水事業所管官庁、水道事業者への販売が拡大。
- ボリビア国内の給水事業以外の分野(鉱業、建設業、農業、工業)への展開。